

(社)全日本鍼灸学会
平成 23 年度 第 5 回理事会 会議議事録要旨

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 24 年 3 月 20 日(火) 午前 10 時 30 分～12 時 30 分

場 所：東京医療専門学校 代々木校舎 (東京都渋谷区代々木 1-55 学園ビル TEL 03-3320-1815)

II. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭
挨 拶：会 長 後藤 修司
議 長：会 長 後藤 修司

議事に先立ち、後藤修司会長から挨拶があった。

【報告事項】

1. 各部事業報告 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)

1) 事務局	福村事務局長
2) 学術部	篠原学術部長
3) 研究部	山下研究部長
4) 編集部	坂口編集部長
5) 組織部	安藤組織部長
6) 国際部	高澤国際部長
7) 広報部	金井広報部長
JLOM 関連委員会報告	東郷 JLOM 関連委員会委員長
認定委員会報告	福村認定委員会事務局長
2. 第 61 回学術大会進捗状況報告	津田中部支部長
3. 第 62 回学術大会準備報告	清水九州支部長
4. 公益法人化の準備状況報告	安藤定款等改正検討委員会委員長代行 津田定款等改正検討委員会委員

上記各項目、資料に基づき説明があった。

5. 役員及び評議員選挙管理委員会報告 金井選挙管理委員長
評議員 50 名のうち、48 名から投票用紙が送付された旨、説明があった。

6. その他

・武藤理事(東北支部長より義援金配布について御礼の言葉があった。

義援金配布の御礼

妹尾関東支部長より、福島県在住の会員から公的機関からの義援金がまだ届いていない状況で、JSAM の義援金が届いたことが大変有難かったとの御礼を受けたことが報告された。また、武藤東北支部長より、義援金の配分について御礼の言葉が述べられた。

以上、報告事項は全て了承された。

【審議事項】

1. 平成 24 年度予算案

小川副会長

資料に基づき説明があった。最終的には 6 月の理事会で承認を受けて総会に提出する。また、公益法人化に向けて、公益事業と収益事業に組み分ける必要があるため、変更もありうるということが説明された。審議の結果、賛成多数で平成 24 年度予算案について承認された。

2. 編集部提案

坂口編集部長

資料に基づき、以下の 5 点について説明があった。

① JSAM のデータベース（論文掲載と医学中央雑誌への論文データの入稿）

紙ベースのデータを電子化し、Web に登録する作業をライフクリエーションに依頼したいとの提案があった。また、医中誌はファイル形式が違うので、別途 XML データを作成するためのプログラムを作成する必要があるとの説明があった。それに伴う初期投資が 30 万円であり、その後は論文 1 件あたり 2,500 円の費用がかかることが合わせて説明された。審議の結果、来年度実施に向けて予算を計上することが賛成多数で承認された。

また、野口監事から全ての原著論文が翻訳されるようになり、その中から高木賞が選出されるため、不要となる高木賞論文翻訳料の 25 万円を登録作業にかかる費用に充ててはどうかとの意見が出された。

② 医学中央雑誌の参考文献リンクサービス

JAM が掲載されるにあたり、参考文献リンクサービスを申し込むと年間 500 米ドルかかることが説明された。審議の結果、既存のデータベースを活用すれば参考文献を検索することができるため、現時点では参考文献リンクサービスは申し込まないことが賛成多数で承認された。

③ 学会雑誌・検索、データベース

金井広報部長から提案のあった、データベースの統合について部内で協議した結果、8 つに分かれている今の形を残しながら、使い方についての告知などで対応したいとの意向が示された。

審議の結果、現在あるデータベースを残し、使い方などを周知して活用していくことが賛成多数で承認された。

④ 全日本鍼灸学会雑誌への広告掲載

日本神経学会と国際東洋医学会から学会雑誌への広告掲載の依頼があり、掲載の可否と費用など掲載条件について、今後同様の申し出があることも予想されるため、明確にしておきたいとの提案があった。

審議の結果、HP やメルマガ掲載については会長宛に正式文書で申し込んでもらい、無料で掲載することとし、学会雑誌への広告掲載の枠組みについて、関連 4 団体は無料掲載するなど従来行っていた対応を整理し、告知したい会期を過ぎてからの掲載を防ぐための申し込み期限といった事項などを考慮した素案を編集部にて作成した上で、今後議論していくこととなった。また、今回依頼のあった日本神経学会と国際東洋医学会については、「紹介」として学会雑誌に無料で掲載し、HP でのリンクやメルマガでの告知を行うことが賛成多数で承認された。

⑤ 学会用語集の作成

投稿論文における用語の不統一が多く見られるため、学術部や研究部との協働で学会としての用語集を作成してはどうかとの提案があった。審議の中で、形井参与からは、東洋医学会の用語集など、既存のものは古典的な色合いが強いため、用語集制定に向けた活動を行っていた標準化推進委員会では、現代医学的な見地から使われる用語についてまず整理をしてはどうかとの結論に達していることが説明された。

また、後藤会長が研究部長と学術部長に対して意見を求め、山下研究部長からは、WHO における用語集作成にあたり JLOM を通じて JSAM が関わった経緯があるため、そこに定義していないものについて作っていかないと二度手間になるのではないかとの意見が出された。篠原学術部長からは、用語の統一は必要であると考えており、投稿雑誌に多く出される用語から作業を開始するなど工夫が必要であるとの意見が出された。

審議の結果、用語検討委員会を作成し、委員会の人選など坂口編集部長が素案を作成することが賛成多数で承認された。

3. 公益法人移行に関する議案

津田定款等改正検討委員会委員

資料に基づき以下の議案が出された。

第 1 号議案：定款変更案の停止条件つき議決に関する件

第 2 号議案：関連規程の停止条件つき決議に関する件

第 3 号議案：移行に伴う役員変更に関する件

第 4 号議案：公益社団法人への移行定款（案）承認の件

第 5 号議案：公益社団法人への移行認定申請に関する件

審議の結果、全ての議案について賛成多数で承認された。坂本参与から総会での決議項目について質問があり、公益法人となった他団体における移行過程を踏まえて、再度確認することとなった。

4. 関連学会の入会金免除の継続について

安藤組織部長

今年度実施していた関連学会の入会金免除の取り決めについて、審議の結果、来年度も同様に1年間入会金免除を実施することが賛成多数で承認された。

5. 日本経穴委員会運営委員ならびに監事の選任について 小川副会長

第2次経穴委員会の次をうけて発足する日本経穴委員会のメンバーについて審議した。審議の結果、運営委員として坂本歩先生、監事として福村昭先生を推挙することが賛成多数で承認された。作業部員については運営委員会にて決定することが確認された。

6. 入会審査（平成24年1月～2月申込分）

福村事務局長

審議の結果、平成24年1月から2月までに入会申込のあった全員の入会が賛成多数で承認された。

7. その他

・鍼灸医療総合文献データベースのアンケート実施について

山下研究部長

データベースの使い勝手などをメールマガジン購読者を対象者としてアンケートを実施したい旨、説明があった。審議の結果、賛成多数で承認された。アンケート内容については、持ち回り理事会にて諮ることとなった。

データベース活用に関して、篠原学術部長から会員と非会員とで享受できるメリットを区別する考えがあるのか質問があった。それに対して安藤組織部長から、今後公益法人となった場合、鍼灸の情報を広く提供するというを公益事業として謳っているのので、原則会員・非会員の区別なく公開する方針でお願いしたいとの意見が出された。

・役員選任規程について

小川副会長

役員選任規程には次期役員が決定後に辞退する事由が生じた場合は次点者を繰り上げるという規程があるが、信任投票の場合は次点者がいないため、その場合の取扱について審議を行った。審議の結果、信任投票などで次点者がいない場合は、理事会にて役員を選出できるようにすることが賛成多数で承認された。

・グランドデザイン検討委員会について

小川副会長

今後の学会の取り組むべき課題や方向性について検討を行うグランドデザイン検討委員会設置に伴い、予算を計上することと、現在の人選として山下 仁、福田文彦、小野直哉、津田昌樹、粕谷大智、三浦 洋、波田 康を考えている旨、説明があった。審議の結果、グランドデザイン検討委員会への予算計上が賛成多数で承認された。

坂本参与より公益法人化に伴い収益事業にも力を入れなければならず、今後の運営方法を綿密に検討していく必要があることも考慮に入れて、グランドデザイン検討委員会に活動して欲しいとの意見が出された。

以上、全ての議題について賛成多数で承認された。

1号評議員の信任投票開票

妹尾理事、石崎理事の立ち会いのもと、1号評議員の信任投票の開票が行われた。金井選挙管理委員長より、評議員数50名のうち、投票総数48票、無効投票0票との報告があり、1号評議員32名全員が信任された。

役員信任投票開票

大串昭子評議員(鹿児島)、大友竹彦評議員(宮城)立会いのもと、任期満了に伴う24年・25年度の理事、監事の信任投票の開票が行われた。金井選挙管理委員長より、評議員数50名のうち、投票総数48票、無効投票0票との報告があり、理事18名・監事2名の全員が信任された。

以上をもって平成23年度第5回理事会の議事を全て終了した。